平成二十四年 消防出初式

日立市（１／８）

守谷市（１／７）

新春を飾る消防出初式が、一月七日から九日の三日間を中心に県内各地で挙行されました。

今回は守谷市及び日立市消防出初式の様子をスナップ写真でご紹介いたします。

茨城消防

新年号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人 茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉梨　衛
印刷所
冨士オフセット印刷㈱
（１部　15円）

年頭に寄せて

公益財団法人
茨城県消防協会　会長　葉梨　衛

平成二十四年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んでご祝辞を申し上げます。

消防団員・消防職員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務に精励されておりますことに対し、心からの敬意と感謝の意を表するものであります。

また、消防関係諸団体の皆様方には、消防防災に対する深いご理解のもと、熱心にご活動されていることに対し、深甚なる敬意を表する次第であります。

我が国の消防は、戦後、地域に密着した自治体消防として発足して以来、六十余年が過ぎ、この間、関係者の並々ならぬご努力によりまして、組織・設備の両面において着々と充実強化されておりますことは、誠に同慶の至りでございます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応と広範囲にわたり、地域住民の安心・安全確保に大きな役割を果たしているところでございます。

さて、昨年の三月十一日に発生しました東日本大震災にあっては、想像を絶する被害が発生しましたが、多くの消防関係者が復旧に尽力したことから、改めて地域の消防力の重要性が認識されたところであります。

また、日々発生している火災や毎年来襲する台風や地球温暖化の影響と思われる局地的な豪雨に加え、今後発生が予想される首都直下型地震災害などが脅威となっており、益々大きくなる消防の役割と住民の期待に応え住民生活の平穏と安全を守って行くためには、消防の組織を上げて英知を結集するとともに、崇高な消防精神の高揚と団結を図り、地域防災力の強化を図ることが不可欠であると考えております。

本協会といたしましても、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の『安全・安心の確保』のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

特に、平成十九年度の理事会・評議員会で決議いたしました「女性消防団の結成促進に向けた取組み」につきましては、各消防団長さんをはじめ、関係者の皆様の熱意とご努力により、着々と実績を上げてきており、その数は昨年十月現在で三十四団（女性団員数四百八十七名）となり、今後も発足の動きが見られます。

どうか皆様におかれましても、心新たに「安全な地域づくり」のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方とご家族様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

茨城県知事　橋本　昌

平成二十四年の新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、本県の消防防災行政の推進に大変なご尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年は、東日本大震災により県土全体が想像を絶する甚大な被害を受けるとともに、福島第一原子力発電所の事故により、県民生活や産業活動が深刻な影響を受けるなど、本当に大変な一年でありました。

一方で、北関東自動車道の全線開通、茨城空港における札幌便や上海便の増便、日野自動車新工場の起工式など、発展に向けた着実な歩みも見られたところです。

本年は、震災からの復興を成し遂げ、本県を再び発展の軌道に乗せるための重要な年になってまいります。震災や原発事故の影響に加え、円高・デフレの長期化や景気の低迷など、県政を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、引き続き、経済・雇用対策や行財政改革に全力で取り組みながら、全ての県民が安全、安心、快適に暮らせる「生活大県」づくりに邁進してまいります。

このような中にあって、県民誰もが安心して暮らすことができる県土づくりを進めるうえでは、いかなる災害や事故におきましても迅速・的確に対応できるよう、消防防災体制の更なる充実強化を図っていくことが重要であると考えておりますので、今後とも、消防関係者の皆様方のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして新年の挨拶といたします。

平成二十三年度 茨城県女性消防団結成促進大会を開催

平成十九年度の当協会総会（理事会・評議員会）決議『概ね三年程度で県内全市町村に女性消防団を結成する』を受けて、女性消防団の活動事例等を紹介しながら、女性消防団の結成を促進し、併せて県内女性消防団員の交流を促すため、五回目となる女性消防団結成促進大会を十二月七日、県庁九階の講堂で実施しました。

大会では、最初に「女性消防団もう一つの顔／ある女性消防団の活動記録」と題して、昨年十月に開催された第二十回全国女性消防操法大会に本県代表として出場した北茨城市消防団の全国大会出場までの訓練の様子などが鮮明な映像で流されました。

次に総務省消防庁消防団員確保アドバイザーをしている財団法人群馬県消防協会顧問の根岸敏男さんに「魅力ある消防団づくり」と題して、ご講演をいただきました。

休憩を挟んだ後、つくば市女性消防団員による火災予防啓発劇「つけてっか?火災警報器」が演じられ、次に意見発表として、笠間市消防団の海老澤多恵子さんから「今私達に出来ること」、また阿見町消防団の大久保里美さんからは「阿見町女性消防団と私の歩み」と題して、それぞれ意見発表をしていただきました。海老澤さんは、団員歴三年、大久保さんは団員歴七年で、それぞれ現在班長として消防団結成当初から活動されています。

最後に「東日本大地震の発生!私達の活動そして今後への備え」と題し、パネルディスカッションを行いました。コーディネーターには勿論、本県女性消防団員の中で知らない人はいない東京都赤羽消防団副団長の小澤浩子さん、パネラーには、団長歴八年の守谷市消防団・齋藤芳紀団長、団長歴四年の鉾田市消防団・二重作惣司団長、団歴二年のつくば市消防団・稲川幸子支団長、団歴三年の北茨城市消防団・福田良子分団長、団歴二年の常総市消防団・齊藤初枝分団長にお願いし、約一時間にわたり女性消防団結成にあたっての課題や難しさ、また、結成後の活動内容やその効果、苦労話など、小澤さんの巧みなリードでお話しが聞け、参考になったと思います。

第二部は、会場を二階のレストランに移し、恒例となった意見交換会でした。

意見交換会では、お忙しい中、橋本知事にご出席いただき、宮本生活環境部長等の県幹部や小澤講師などにもご参加をいただいて、大いに交流を図ることが出来ました。

これらの活動の結果、女性消防団の結成状況は、十月現在で三十四の消防団に設置され、更に今後も発足の動きが見られます。

この大会の成果を参考に、今後の女性消防団活動が充実発展されることを期待いたします。

つくば市女性消防団員による寸劇

パネルディスカッションの様子

意見交換会（橋本知事とともに）

平成二十三年度 理事会・評議員会開催

十一月一日付けで新公益法人への移行に伴い、平成二十三年度公益財団法人茨城県消防協会理事会・評議員会（いわゆる「総会」）が、十二月二十一日（水）に茨城県総合福祉会館において開催されました。

会議は、まず、理事会と評議員会の議案が同じであったため同時開催としたことを説明した後、会議定足数の確認（理事定数三十四名のところ出席者三十一名、評議員定数四十名のところ出席者三十五名で過半数を超え、会議が成立。）が行われ、その後、葉梨会長から主催者の挨拶、続いて来賓を代表し県生活環境部の丹危機管理監からご挨拶を頂きました。ご臨席頂いたご来賓は次の方々です。

・県危機管理監　丹　勝義　様
・県立消防学校長　岩島　孝夫　様
・県消防防災課課長補佐　大畠　寿哉　様

続いて議事は、葉梨会長が議長となり、評議員会の議長（大子町消防団長　小盛久男様）及び評議員会の議事録署名人（茨城町消防団長　長洲良男様／ひたちなか市消防長　柳橋勉様）を選出（理事会は定款の規定により会長及び監事）し、議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・議決されました。（理事会と評議員会では報告及び議事案件が相違しますので、評議員会議案を掲載いたします。）

○報告第一号　平成二十三年度　普通会計収支補正予算
○報告第二号　平成二十三年度　事業計画（平成二十三年十一月一日から平成二十四年三月三十一日まで）
○報告第三号　平成二十三年度　普通会計収支予算（平成二十三年十一月一日から平成二十四年三月三十一日まで）
○議案第一号　平成二十三年度　事業報告（案）（平成二十三年四月一日から十月三十一日まで）
○議案第二号　平成二十三年度　普通会計収支決算（案）（平成二十三年四月一日から十月三十一日まで）

議長を務める葉梨会長

平成二十三年度 支部別消防団長等懇談会を開催

恒例の支部別消防団長等懇談会が、昨年十二月に県南北部支部と県南南部支部、年明け一月から残る四支部で順次開催されました。

出席者は、消防団長をはじめ消防長、消防団担当課長、消防主任並びに県から消防防災課長、消防学校長及び同職員、協会事務局です。

今回の懇談会は、公益法人への移行に伴う当協会の運営等を議題としたため、全部の支部で消防長の出席をお願いしました。

（開催日程）

○県南北部支部　五市
平成二十三年十二月十五日
つくばみらい市「セミナーハウス常総」
○県南南部支部　九市町村
平成二十三年十二月二十日
阿見町「かすみ公民館」
○鹿行支部　五市
平成二十四年一月二十日
神栖市「神栖市保健センター」
○県央支部　六市町
平成二十四年一月二十六日
小美玉市消防本部美野里消防署
○県北支部　九市町村
平成二十四年一月二十七日
ひたちなか市消防本部
○県西支部　十市町
平成二十四年二月一日
古河市役所三和庁舎

議題

（一）消防団の充実強化
（二）東日本大震災における消防団活動の検証結果
（三）消防団と地域の各種組織との連携
（四）平成二十四年度消防学校教育訓練計画概要
（五）公益財団法人茨城県消防協会の今後の運営等
（六）消防操法大会における運営等
（七）日本消防協会の火災共済制度及び消防互助年金等
（八）その他（女性消防団支部別情報交流会助成）

懇談会は、まず消防防災課から、昨年消防庁から通知のあった消防団の充実強化、県が作成した東日本大震災時における消防団の対応状況等及び消防団と地域の各種組織との連携について、続いて県立消防学校から消防学校の教育訓練計画について、それぞれ説明を頂きました。

次に、公益認定までの経緯や公益財団法人茨城県消防協会の組織等の概要等、消防操法大会における運営等について、鈴木事務局長から説明しました。

最後に、日本消防協会及び全日本消防人共済会が行う各種共済事業（福祉共済・火災共済・消防互助年金）について、加入促進を図るためのＰＲを鈴木事務局長が行いました。

いずれの会場でも、限られた時間の中で有意義な情報交換が出来たものと思われます。

県央支部団長等懇談会

平成23年度公益財団法人茨城県消防協会事業計画
（平成23年11月１日から平成24年３月31日）

事業名	計画の概要
１　啓発普及事業	
(1)機関紙「茨城消防」の発行	・「茨城消防」を隔月6,400部発行し、消防団・消防本部・その他消防関係者に配布する。
(2)火災予防運動	・消防庁並びに（財）日本消防協会が行う秋季及び春季火災予防運動に呼応して、火災予防運動を展開し、火災予防思想の普及高揚を図る。
(3)「日本消防」の配布	・防火ポスターの配布 ・(財) 日本消防協会が発行する「日本消防」を各市町村・各消防本部に毎月配布する。
(4)新聞紙上及びラジオによる防火・防災思想の普及	・新聞掲載及びラジオ放送による火災予防や防災の広報を行い、県民の防火防災思想の普及高揚を図る。
２　消防団活性化事業	
(1)支部別団長等懇談会	・県内６支部において、消防団長・消防主管課長による懇談会を開催し、消防団活性化対策等についての意見交換を行う。
(2)地域交流活動促進助成	・地域ぐるみの防災体制を促進するため、消防団員相互及び消防団と地域住民・企業等との交流活動等を行う消防団に経費の一部を助成する。
(3)女性消防団結成促進助成	・男女共同参画型社会の形成を推進し、女性の持つ特性を生かしながら消防活動を実施する女性消防団を、平成19年度から概ね３年程度で県内全市町村に結成されるよう促進を図ることとして、重点的に取り組んできた結果、平成23年４月現在で44消防団中32消防団に女性消防団が結成された。 まだ結成されてない消防団が多少あることから、引き続き結成する消防団に対し、活動服の製作等に要する経費の一部を助成する。
(4)消防団協力事業所表示制度による表示証の配布	・消防団員を雇用している等、消防団に協力的な事業所を消防庁が定めた「消防団協力事業所表示制度」に基づき、各市町村が協力事業所と認定した場合に、市町村の申請に基づき協力事業所の表示証を購入し配布する。
３　教育指導事業	
(1)支部消防団員教育訓練助成	・消防協会支部の行う教育訓練事業（操法・規律等）に要する経費の一部を助成する。
(2)女性消防団結成促進大会	・女性消防団の結成を促進するため促進大会を実施する。
(3)茨城県婦人防火クラブ連絡協議会助成	・県内婦人防火クラブを育成・支援するため、）茨城県婦人防火クラブ連絡協議会に経費の一部を助成する。
(4)茨城県幼少年婦人防火委員会助成	・県内の幼年・少年・婦人防火クラブを育成・支援するため、茨城県婦人防火クラブ連絡協議会に経費の一部を助成する。
(5)婦人防火クラブ指導者研修会助成	・自主防火防災に対する理解を深めてもらうとともに、自主防災組織の整備を図るため、婦人防火クラブの指導者を対象に防火防災の研修会を実施する。
(6)日本消防協会消防団幹部研修・幹部候補中央特別研修	・(財) 日本消防協会主催により実施される、消防団幹部特別研修に県内消防団の団長及び副団長の幹部を、また消防団幹部候補中央特別研修に県内の比較的若い男女消防団員を派遣する。
４　大会開催及び全国大会参加事業	
(1)第17回全国女性消防団員活性化香川大会への参加	・全国の女性消防団が一同に会する本大会に、県内の女性消防団員に参加を募り、全国の女性消防団の活動事例等を学習し、併せて全国の女性消防団員と意見交換をし、今後の活動の糧とする。
(2)第23回全国消防操法大会茨城県代表選考会	・平成24年度に第23回全国消防操法大会が実施されることから、これに出場する消防団を決定するため、各地区大会の小型ポンプの部で優勝し、この大会に出場を希望する消防団による選考会を実施する。
(3)出初式	・県内の消防出初式等に出席する。
５　福祉厚生事業	
(1)日本消防協会定例表彰	・日本消防協会定例表彰の候補団体・個人を推薦する。
(2)退職消防団員報償	・在職期間５年～15年の退職消防団員に感謝状及び記念品を贈呈する。
(3)死亡消防職・団員表彰	・在職期間５年未満の消防団員及び現職消防職員に感謝状を贈呈する。
(4)消防関係者叙勲・褒章等受章祝賀会	・春、秋消防関係者叙勲・褒章等の受章者を招待し、祝賀会を開催する。
(5)弔慰見舞	・傷病、死亡等の会員に弔慰見舞金を贈呈する。
(6)福祉共催制度等への加入促進	・(財) 日本消防協会が行う福祉共済制度等への消防職団員の加入促進を図る。
６　海外支援事業 海外消防機関への災害時の義援及び消防資機材の寄贈等	・海外の災害に対する義援及び消防資機材等の不足により、消防活動に支障をきたす国に対し、国際交流として、使用した消防自動車等を寄贈する。

日本消防協会主催 消防団幹部特別研修

日本消防協会主催による第三十八回消防団幹部特別研修が、平成二十四年一月十七日から二十日まで、三泊四日の日程で実施され、本県からは牛久市消防団の山岡恒夫副団長が参加されました。

ここに、山岡副団長からの寄稿文をご紹介します。

「消防団幹部特別研修」に参加して

牛久市消防団　副団長　山岡　恒夫

東京の日本消防会館で行われた消防団幹部特別研修に研修生として参加をさせていただきました。

一日目は、理事長講話（日本消防協会理事長　秋本敏文氏）、災害情報（静岡大学防災総合センター　牛山素行氏）、参加者による意見交換会。

二日目は、消防団実務（東京消防庁防災部長　伊藤克巳氏）、日本の救急医療の問題点（聖路加国際病院理事長　日野原重明氏）、消防団活動事例（気仙沼市消防団長　武山文英氏）、危機管理（防災危機管理トレーニング主宰　日野宗門氏）、課題研究討議。

三日目は、消防行政（消防庁国民保護・防災部長　佐々木克樹氏）、防災対策（消防庁防災課長　山口英樹氏）、惨事ストレス対策（筑波大学大学院　松井豊氏）、課題研究討議、総務省消防庁危機管理センター、東京消防庁第六消防方面救助機動部隊視察。

四日目は、火災防ぎょ（東京消防庁参事兼警防課長　松浦和夫氏）、課題研究発表（消防庁消防団専門官　青木浩氏）。

以上のように、講師陣は、現在日本の防災第一線で活躍している方たちでした。

各都道府県から一人の研修生は、副団長以上の階級にあるものでしたので、課題研究討議、意見交換会は活発に行われました。課題研究討議・発表で消防団員の確保について、外国では地方の消防は消防団が担っているため、子供の頃から消防に関心を持たせるようにしている等の事例も報告されました。

東日本大震災で地震・津波被害にあった気仙沼市消防団活動事例発表で、武山団長は、今後の対策について、地域の防災訓練等を通じ、住民への防災意識と知識の啓発に努める。自助・共助精神の確立していく必要があると締めくくられました。

貴重な研修に参加させていただきまして、ありがとうございました。

編集後記

平成二十四年の消防出初式は三連休を中心に概ね穏やかな天候のなかで行われましたが、今年は平年に比べ気温の低い日が続いているような気がします。私だけでしょうか？寒さもまだまだと言ったところで、皆さんも体調管理には十分注意しましょう。

今年度も残すところあと一ヶ月余り、もう一頑張りですね。（せ）

10mから50mモリタの梯子車
モリタの技術と設備は20種類以上の消防防災、総ての車を造ります。
完全水冷ラジエータ式、強制空冷式シバウラ小型消防ポンプ
ＳＦシリーズ、ＴＦシリーズ独特の２本立で総ての機能を具えております。
消防・防災用品全般、火の見櫓撤去・移設、ホスポール建立
茨城県代理店
㈲　鈴　機
石岡市国府5-2-25
TEL.0299(22)3010　FAX.0299(22)5846

Panasonic
自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン
パナソニック株式会社　特機商品代理店
株式会社入江電機工業所
本社　〒310-0031　水戸市大工町2丁目3番23号　TEL.029-224-4614(代表)　FAX.029-224-4613
千波営業所　〒310-0851　水戸市千波町海道付2027番地　TEL.029-241-3636(代表)　FAX.029-244-0540
土浦営業所　〒300-0061　土浦市並木1丁目2番20号　TEL.029-821-8498(代表)　FAX.029-822-6575

トーハツ小型消防ポンプ
充実のVシリーズ
V75ESからV10Fまで
豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。
消防ポンプ自動車　消防用ホース
消火器　消防服装
消防資機材用品一式
茨城県代理店
トキワ産業株式会社
水戸市東原3-6-24
TEL.029(224)3324㈹
FAX.029(224)3360